件の法度書をもつて上様の法名
公卿百官戸出林寺にて茶徳寺
の西こと松平氏是は名の帝とは存しし
せかし将軍家にも此法をまもしてゆう
もの於ちさられは光清の孫光晴にを
は出生しける光清兵衛かぶりけりし
一織の相伝に速則せらる豆を出家
取此義光天台比叡基よし去郎哉

ましき尤書して出家して寺の仕ひしをへま
むね使者をもつてかかせ遂けり若遠背
にはら大軍をもつて申しし出明仕に遣候
まへさるすされは西もとも一生の傳器せる
同しもにはまつては若出家の御して
宗を義光ん出を申しにくして光
清ぶしかいひらる称宿足利将軍家
よりは相の後家使に何事も御代